

公開シンポジウム

(第一報)

“医療事故対策とリスク・シェアリング”

医療事故対策の3つの課題(改善活動とシステム改革による医療事故防止、医療傷害の相互補償、医療事故審査)についてスウェーデンと日本を比較し、医療における質保証とリスク・シェアリングのあり方について考えます。

日時: 2月7日(土) 13:00~17:00

会場: 東京国際フォーラム (D1ホール)

東京都千代田区丸の内3丁目 03(5221)9000(代)

主催: 「医療の質・安全戦略」研究班
(厚労科研費補助金事業)

共催: (財)生存科学研究所

後援: 医療の質・安全学会

参加費: 2000円 (同時通訳あり)

参加申し込み方法:

当日、会場申し込みを受け付けます。参加をご希望の方は、直接会場までお越しください。

生存科学研究所(小林)

E-mail: seizon@mx1.alpha-web.ne.jp FAX: (03) 3567-3608_ 電話:(03) 3563-3518



■ 特別講演 カイ・エッシンガー氏 (Kaj Essinger)

スウェーデン医療傷害保険公社最高責任者(CEO)

“スウェーデンの医療事故対策と医療傷害補償制度”

■ シンポジスト (予定)

- 佐原康之 (厚生労働省医療安全推進室長) 事故対策における行政の役割と補償の考え方
- 野村英樹 (金沢大学/戦略研究班) プロフェッションの責任と質保証のしくみ-海外事例の紹介
- 上原鳴夫 (東北大学/戦略研究班) 「医療リスク保険」の提案と医療質管理の促進について

問合せ先: 022-717-8197 (東北大学大学院医学系研究科国際保健学分野(千原/上原))

講師紹介：

エッシンガー氏は2000年8月よりスウェーデン医療傷害保険公社の最高責任者(CEO)を務める。同保険はすべての公的医療と、公的機関と契約する民間医療をカバーし、医療に伴う傷害(医療事故など)を被った患者に対して補償するもので、約1万件の申請のうち4300件に対して回避可能な傷害であることを理由とする補償を行っている。同氏はストックホルム・ヘルスケアシステムの最高責任者(CEO)やスウェーデン病院連盟医療局長の要職を歴任し、「欧州連合(EU)患者安全作業委員会」や米国 Joint Commission と WHO による「患者安全対策に関する国際運営委員会」の委員も務める、スウェーデンの患者安全運動を牽引するリーダーの一人である。